

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
コンピュータ実習 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2019/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	合田 千佳(実務経験あり)
授業の概要				
<p>・情報化社会の現在、必須の能力とされているパソコンスキルを習得するため、パソコン演習を通し、パソコンの基本操作を学び、文書作成ソフト(Word)の操作と文書作成能力を養う</p> <p>【実務経験】合田 千佳          ・ユーザ教育・社内教育担当として2年の実務経験          これまでのユーザ向けや社内向け講座の企画立案から準備・実施・フォローの経験を活かし学生の技術力を高める授業を展開する          ・専門学校講師として21年の実務経験          これまでの様々なIT資格やビジネス資格取得教育担当や職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成する職業教育担当経験を活かし学生の技術力を高める授業を展開する          ・営業事務として2年の実務経験          これまでのMicrosoft Officeを用いたデータ分析資料や財務資料、プレゼンテーション資料、ビジネス文書作成などの経験を活かし学生の技術力を高める授業を展開する</p>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Word文書処理技能認定試験3級(サーティファイ) 合格</li> <li>・Wordを用いて簡単なビジネス文書を作成することができる</li> </ul>				
回	テーマ	内 容		
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の目的、評価方法</li> <li>Windowsの基本操作</li> <li>1. Wordの基本</li> <li>2. 文字の入力と編集の基本操作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※授業の目的と、評価方法の説明</li> <li>Windowsの概要、基本操作(アプリ操作、エクスプローラ)について理解する</li> <li>Microsoft Officeの概要、各ソフトの特徴、Wordの起動・終了</li> <li>日本語入力システム、文字の入力と変換、文書の保存</li> </ul>		
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>2. 文字の入力と編集の基本操作</li> <li>3. 文書の編集</li> <li>4. 文書の印刷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文書の呼び出し、文字列のコピーと移動</li> <li>ページの書式設定、文字の書式設定、字下げ、禁則処理、均等割付</li> <li>ヘッダーとフッターの設定、印刷イメージの確認方法</li> </ul>		
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>Word文書処理技能認定試験3級問題集</li> <li>3級練習問題2、4の問題1と問題2部分の答練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する</li> </ul>		
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>3. 文書の編集</li> <li>5. 文書の作成</li> <li>6. 表を使った文書の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>罫線と網かけ</li> <li>段落番号、箇条書き、インデント、タブ設定</li> <li>表の作成、表の編集、表の装飾</li> </ul>		
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>Word文書処理技能認定試験3級問題集</li> <li>3級練習問題2, 4の問題3と問題4(図形や画像抜いた)部分の答練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する</li> </ul>		
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>7. 図形や画像を使った文書の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図形の作成、図形の編集、画像の挿入、横書きテキストボックスの挿入、ワードアートの挿入</li> <li>ヘッダーやフッターへの図形や画像、ワードアートの挿入</li> </ul>		

回	テーマ	内容		
7	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題2、4の問題4(図形と画像部分)と問題5部分の答練	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する		
8	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題3の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
9	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題5の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
10	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題7, 9の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
11	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題3, 4の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
12	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題5, 6の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
13	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題1, 2の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
14	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級サンプル問題の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
15	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題6, 10の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Word2010クイックマスター(ウィネット) Word文書処理技能認定試験3級問題集 (サーティファイ)		期末試験	100.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	三村 梨恵(実務経験あり)
授業の概要				
サービス接客検定3級取得のための勉強を通して、社会人として必要なマナーを身につける				
【実務経験】三村 梨恵：一般企業で接客業(ショールームアドバイザー)として1年 トリマーとして12年の実務経験 接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、学生が実践しやすいような授業をする。				
授業終了時の到達目標				
サービス接客検定3級合格				
回	テーマ	内容		
1	授業説明	授業の目的・前期の流れ説明 検定の申込書記入		
2	I サービススタッフの資質			
3	I サービススタッフの資質	過去問題		
4	II 専門知識			
5	II 専門知識	過去問題		
6	III 一般知識			
7	III 一般知識 IV 対人技能	過去問題		
8	IV 対人技能			
9	IV 対人技能	過去問題		
10	V 実務技能			
11	V 実務技能	過去問題		
12	過去問題			
13	過去問題			
14	過去問題			
15	過去問題			

回	テ ー マ	内 容		
16	過去問題			
17	過去問題			
18	検定解説 Ⅰ必要とされる資質	実務マナー検定		
19	Ⅰ必要とされる資質			
20	Ⅰ必要とされる資質	過去問題		
21	Ⅱ企業実務			
22	Ⅱ企業実務			
23	Ⅱ企業実務			
24	Ⅱ企業実務	過去問題		
25	Ⅲ対人関係			
26	Ⅲ対人関係			
27	Ⅲ対人関係			
28	Ⅲ対人関係			
29	Ⅲ対人関係	過去問題		
30	Ⅲ対人関係	過去問題		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
サービス接遇検定 受験ガイド 3級 ビジネス実務マナー検定 受験ガイド 3級		期末テスト 授業態度 出席率 提出物	60.0% 20.0% 10.0% 10.0%	検定結果を期末試験の代わりとします。 【準備学習】 次回の授業内容を踏まえて、テキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	三村 梨恵(実務経験あり)
授業の概要				
検定取得を目指す 社会人として必要なマナーを学ぶ  <b>【実務経験】</b> 三村 梨恵：一般企業で接客業(ショールームアドバイザー)として1年 トリマーとして12年の実務経験 接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、学生が実践しやすいような授業をする。				
授業終了時の到達目標				
検定取得 社会人として必要なマナーを身につける				
回	テーマ	内 容		
1	IV技能	検定申込書記入		
2	IV技能			
3	IV技能			
4	IV技能			
5	IV技能			
6	IV技能	過去問題		
7	過去問題			
8	過去問題			
9	過去問題			
10	過去問題			
11	過去問題			
12	過去問題			
13	過去問題			
14	過去問題			
15	過去問題			

回	テ ー マ	内 容		
16	過去問題			
17	過去問題			
18	I サービススタッフの資質	サービス接遇2級		
19	I サービススタッフの資質			
20	I サービススタッフの資質			
21	I サービススタッフの資質	過去問題		
22	II 専門知識			
23	II 専門知識			
24	II 専門知識	過去問題		
25	インターンに向けて	インターン実習の流れ		
26	インターンに向けて	自己分析シート		
27	インターンに向けて	履歴書の書き方		
28	インターンに向けて	電話の掛け方		
29	インターンに向けて	電話の掛け方		
30	インターンに向けて	面接練習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
サービス接遇検定 2級受験ガイド ビジネス実務マナー検定 3級受験ガイド		期末テスト 授業態度 出席率 提出物	60.0% 20.0% 10.0% 10.0%	検定結果を期末試験の代わりとします。 【準備学習】 次回の授業内容を踏まえて、テキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
犬種標準学 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀(実務経験あり)
授業の概要				
講義 実務経験 吉本 真紀 トリマー兼ブリーダーとして26年 経験から犬のプロとしてロールモデルとなる。				
授業終了時の到達目標				
犬の種類や特徴を知り 仕事に役立てること				
回	テーマ	内容		
1	なぜ犬の種類ができたのか	犬の種類がなぜ増えていったのかを説明する		
2	犬の体を知ろう	犬の部位名称や歯列やかみ合わせの説明		
3	第1グループ犬種説明と各犬種の説明	第1グループに属する犬種の特徴と各犬種の特徴 オーストラリアン・シェパード・ボーダーコリー		
4	第1グループ犬種説明と各犬種の説明	ウエルシュ・コーギーペンブローグ ウエルシュ・コーギーカーディガンの違いの説明		
5	第1グループ犬種説明と各犬種の説明	ジャーマンシェパードの説明 シェパードの歴史と牧羊犬の役割の解説		
6	第1グループ犬種説明と各犬種の説明	ラフ・コリーとスムース・コリー、シエルティの解説 作出に関しての歴史の説明		
7	第2グループ犬種説明と各犬種の説明	大型犬の作出の歴史を説明 グレート・ピレニーズの解説		
8	第2グループ犬種説明と各犬種の説明	バーニーズマウンテンドッグの説明 ニューファンドランドの説明		
9	第2グループ犬種説明と各犬種の説明	シュナウザー ブルドッグ ドーベルマンの説明		
10	第3グループ犬種の説明 各犬種の説明	テリアの特徴の説明 飼育		
11	第3グループ犬種の説明 各犬種の説明	ウエストハイランドテリアの説明 スコティッシュテリアの説明 短脚テリアの特徴をまとめて説明		
12	第3グループ犬種の説明 各犬種の説明	ワイヤーフォックステリア説明 ヨークシャテリア説明		
13	小テスト	期末試験までの準備のため		
14	期末試験のおさらい			
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新犬種図鑑		期末試験	100.0%	準備学習 次に授業でする犬種のところを教科書で予習する。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
犬種標準学Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀(実務経験あり)
授業の概要				
講義 実務経験 トリマー兼ハンドラーとして26年 経験上お客様に聞かれることを教えながら学生のロールモデルになる。				
授業終了時の到達目標				
犬の種類や特徴を知り 仕事に役立てること				
回	テーマ	内容		
1	第4グループ犬種説明	ダックスフンドの特徴と沿革の説明		
2	第5グループ犬種説明と各犬種の解説	シベリアンハスキーとアラスカンマラミュートの違い		
3	第5グループ犬種説明と各犬種の解説	ポメラニアンや他のスピッツタイプの説明		
4	第5グループ犬種説明と各犬種の解説	日本犬の特徴と説明		
5	第6グループ犬種説明と各犬種の解説	ビーグルなどの説明		
6	第6グループ犬種説明と各犬種の解説	ダルメシアンの特徴		
7	第7グループ犬種説明と各犬種の説明	セターとワイマラナーの説明		
8	第8グループ犬種説明と各犬種の説明	アメリカン・コッカーの説明		
9	第8グループ犬種説明と各犬種の説明	スパニエル系のまとめ		
10	第8グループ犬種説明と各犬種の説明	レトリバー系のまとめ		
11	第9グループ犬種説明と各犬種の説明	プードルの説明		
12	第9グループ犬種説明と各犬種の説明	チワワキャバリアなどの説明		
13	小テスト	期末試験の準備		
14	第10グループ犬種説明と各犬種の説明	サイトハウンドの特徴		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新犬種図鑑		期末試験	100.0%	準備学習 次にする犬種をイメージするために本を読んでおく



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ペット美容学 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀(実務経験あり)
授業の概要				
講義				
実務経験 トリマー歴26年の経験を生かしてこれまでの傾向と対策を伝え受験に合格できるようにする				
授業終了時の到達目標				
2年次にサロントリマートリマー3級を取得				
回	テーマ	内 容		
1	なぜ美容が必要か	犬に対して何が必要かを説明する。		
2	クリップ名称の説明	トリミングの形や基本的な用語の説明		
3	犬の皮膚の構造	犬の皮膚がどうなっているのかを説明する		
4	犬の被毛について説明	犬の被毛がどうなっているのか犬種によって		
5	シャンプーについて	シャンプーの種類の説明		
6	シャンプーについて2	どのような犬にどのタイプのシャンプーを選んだらよいかの説明		
7	ドライヤーについて	ドライヤーの使用方法和目的		
8	バリカンについて	バリカンの種類から使用方法の説明		
9	プードルのバリカンに入れ方	プードルのバリカンの入れ方といれる意味の説明		
10	小テスト	期末試験の準備		
11	プードルのトリミングの基礎をしる	トリミングの基礎としてプードルの種類とペットクリップの形をしる		
12	プードルのスタンダードの絵描き	プードルの理想に近い絵がかけられるようになる。		
13	ケネル&ラムのトリミングの説明	トリミングの説明		
14	ケネル&ラムのトリミング説明			
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ドッググルーミングマニュアル		期末試験	100.0%	事前学習 ノートをよくみる こと

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング実習BASIC I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2019/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	60回	4単位(120時間)	必須	吉本, 山地, 森, 三村 (実務経験あり)
授業の概要				
グルーミングに必要な犬の扱いと、美容用具の扱い方を学ぶ				
<p>【実務経験】 吉本真紀 トリマーとして26年 森 純子 トリマーとして13年 三村梨恵 トリマーとして12年 竹川陽貴 トリマーとして11年 山地香里 トリマーとして2年</p> <p>豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる</p>				
授業終了時の到達目標				
正しい作業方法を覚える				
回	テーマ	内容		
1~2	導入	実習における注意事項を説明 道具の種類および使用方法を説明 グルーミングの作業の流れを説明		
3~23	基礎	シザーの持ち方・開き方を学ぶ ブラッシング・ペイジング・ドライイング・爪切り・耳そうじの方法を学ぶ		
24	シザーテスト(第一回)	シザーの持ち方・開き方・開く角度を採点		
25~43	基礎	引き続き、ブラッシング・ペイジング・ドライイング・爪切り・耳そうじの方法を学ぶ クリッパーの使い方を学ぶ		
44	シザーテスト(第二回)	開閉速度・耐久力・正確さを採点		
45~60	基礎	グルーミング作業の復習とスピードアップ シザーテスト合格者から足回りのカットを学ぶ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 実習・実技評価	10.0% 90.0%	【準備学習】 実習にあたりシザーの練習や美容学の復習をしておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態										
グルーミング実習BASIC II		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2019/後期	実習										
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員										
90分	30回	2単位(60時間)	必須	吉本, 山地, 森, 三村 (実務経験あり)										
授業の概要														
グルーミング作業(ブラッシング・ペイジング・ドライイング・爪切り・耳そうじ・クリッピング・足回り)をできるようになる														
<p>【実務経験】</p> <table border="0"> <tr> <td>吉本真紀</td> <td>トリマーとして26年</td> </tr> <tr> <td>森 純子</td> <td>トリマーとして13年</td> </tr> <tr> <td>三村梨恵</td> <td>トリマーとして12年</td> </tr> <tr> <td>竹川陽貴</td> <td>トリマーとして11年</td> </tr> <tr> <td>山地香里</td> <td>トリマーとして2年</td> </tr> </table> <p>豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる</p>					吉本真紀	トリマーとして26年	森 純子	トリマーとして13年	三村梨恵	トリマーとして12年	竹川陽貴	トリマーとして11年	山地香里	トリマーとして2年
吉本真紀	トリマーとして26年													
森 純子	トリマーとして13年													
三村梨恵	トリマーとして12年													
竹川陽貴	トリマーとして11年													
山地香里	トリマーとして2年													
授業終了時の到達目標														
1人でグルーミング作業をできるようになる														
回	テーマ	内容												
1~10	基礎の復習	グルーミング犬種を中心に実習を行い前期に学んだ基礎の復習を行う												
11~20	基礎と応用	基礎の復習 犬種やサイズ、被毛の状態に合わせた作業方法の応用												
21~30	作業速度の向上と犬種別の対応	二人ペアで行っていた作業を一人でどのような犬種でも作業ができるようになる 全作業のスピードアップ(時間を意識して作業を行う)												
教科書・教材		評価基準	評価率	その他										
最新ドッググルーミングマニュアル		出席率 実習・実技評価	10.0% 90.0%	【準備学習】 実習にあたりシザーの練習や美容学の復習をしておく										

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護学 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	齋藤 小百合(実務経験あり)
授業の概要				
動物を取り扱う仕事に就く上で必要となる救命救急や消毒、健康管理法などの動物看護についての知識を座学、実習を通して学ぶ。 【実務経験】 齋藤小百合: 動物看護師として12年の実務経験。これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する				
授業終了時の到達目標				
動物の異常所見の早期発見、救急時の対処法を理解し、実践することができる。				
回	テーマ	内容		
1	動物看護学概論	動物を扱う仕事に就く上で動物看護がどのように必要となるかを学ぶ。		
2	フィラリア症について	犬にとって気をつけなければいけないフィラリア症について学ぶ		
3	狂犬病について	人獣共通感染症である狂犬病について学ぶ		
4	混合ワクチンについて①	犬猫の感染症予防で用いられるワクチンについて学ぶ		
5	混合ワクチンについて②	犬猫の感染症予防で用いられるワクチンについて学ぶ		
6	救命救急①	救命時の対処法を学ぶ		
7	救命救急②	救命時の対処法を学ぶ		
8	救命救急③	救命時の対処法を学ぶ		
9	救命救急④	救命時の対処法を学ぶ		
10	救命救急⑤	救命時の対処法を学ぶ		
11	動物看護実習①	実習を通して動物の状態把握の方法を学ぶ		
12	動物看護実習②	実習を通して動物の状態把握の方法を学ぶ		
13	動物看護実習③	実習を通して動物の状態把握の方法を学ぶ		
14	動物看護実習④	実習を通して動物の状態把握の方法を学ぶ		
15	動物看護実習⑤	実習を通して動物の状態把握の方法を学ぶ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
トリマーのためのベーシック獣医学		期末試験	100.0%	【事前学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物飼養管理学Ⅰ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	森 純子(実務経験あり)
授業の概要				
<p>動物飼養の理解と検定取得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物に関する法律・動物の習性・疾病・適切な飼養管理について学び、愛玩動物と一との共存を考える</li> <li>・愛玩動物飼養管理士2級合格レベルの知識を身に付ける</li> </ul> <p>【実務経験】森純子：トリマーとして13年の実務経験 多数の動物の飼養経験により学生がイメージしやすいよう授業を展開する。</p>				
授業終了時の到達目標				
愛玩動物飼養管理士2級合格				
回	テーマ	内 容		
1	愛玩動物飼養管理士の社会活動	公益社団法人日本愛玩動物協会の目的・事業  愛玩動物飼養管理士とは		
2	動物愛護論Ⅰ・Ⅱ	人は動物をどのように観てきたか 近代的動物愛護運動の始まり		
3	動物愛護論Ⅲ・人と動物の関係学	現代の動物愛護運動とその思想  互いに影響しあう人と動物 人を支える動物たち 動物から子供が学ぶこと		
4	動物関係法令概説Ⅰ	動物の愛護及び管理に関する法律  第1章 総則		
5	動物関係法令概説Ⅰ	動物の愛護及び管理に関する法律  第2章 基本指針等		
6	動物関係法令概説Ⅰ	動物の愛護及び管理に関する法律  第3章 動物の適正な取り扱い  第1節 総則		
7	動物関係法令概説Ⅰ	動物の愛護及び管理に関する法律  第3章 動物の適正な取り扱い  第2節 第一種動物取扱業者		
8	動物関係法令概説Ⅰ	動物の愛護及び管理に関する法律  第3章 動物の適正な取り扱い  第2節 第一種動物取扱業者		
9	動物関係法令概説Ⅰ	動物の愛護及び管理に関する法律  第3章 動物の適正な取り扱い  第3節 第二種動物取扱業者 第4節 周辺的生活環境の保全に係る措置		

回	テーマ	内容		
10	動物関係法令概説Ⅰ	動物の愛護及び管理に関する法律 第3章 動物の適正な取り扱い 第5節 動物による人の生命等に対する侵害を防止するための措置 第6節 動物愛護担当職員		
11	動物関係法令概説Ⅰ	動物の愛護及び管理に関する法律 第4章 都道府県の措置等①		
12	動物関係法令概説Ⅰ	動物の愛護及び管理に関する法律 第4章 都道府県の措置等②		
13	動物関係法令概説Ⅰ	動物の愛護及び管理に関する法律 第5章 雑則		
14	動物関係法令概説Ⅰ	動物の愛護及び管理に関する法律 第6章 罰則		
15	動物関係法令概説Ⅱ	動物の飼養及び保管に関する基準等 ・家庭動物等の飼養及び保管に関する基準		
16	動物関係法令概説Ⅱ	動物の飼養及び保管に関する基準等 ・展示動物の飼養及び保管に関する基準		
17	動物関係法令概説Ⅲ	狂犬病予防法 身体障害者補助犬法		
18	動物関係法令概説Ⅲ	ペットフード安全法 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律		
19	試験対策	課題報告問題		
20	期末試験			
21	動物の体の仕組みと働き①	第1章 からだの基本の仕組み		
22	動物の体の仕組みと働き②	第2章 栄養を取り入れる		
23	動物の体の仕組みと働き③	第3章 酸素を取り入れる		
24	動物の体の仕組みと働き④	第4章 老廃物の排出、異物の撃退と解毒		
25	動物の体の仕組みと働き⑤	第5章 情報を取り入れる		
26	動物の体の仕組みと働き⑥	第6章 体内の情報伝達		
27	動物の体の仕組みと働き⑦	第7章 子供を産み育てる		
28	動物の飼養管理①	動物の適正な飼養管理 環境衛生		
29	動物の飼養管理②	動物の健康増進と疾病予防 飼養衛生		
30	動物の飼養管理③	ペットのケガや事故への対応 災害に備える 血統書		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物飼養管理士 2級教本		期末試験	100.0%	【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストや問題集を用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物飼養管理学Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	森 純子(実務経験あり)
授業の概要				
動物飼養の理解と検定取得				
<ul style="list-style-type: none"> <li>動物に関する法律・動物の習性・適切な飼養について学び、愛玩動物と人との共存を考える。</li> <li>愛玩動物飼養管理士2級合格レベルの知識をみにつける</li> </ul>				
<p>【実務経験】森純子：トリマーとして13年の実務経験 多数の動物の飼養経験により学生がイメージしやすいよう授業を展開する。</p>				
授業終了時の到達目標				
愛玩動物飼養管理士2級合格				
回	テーマ	内 容		
1	動物の飼養管理Ⅱ	犬の飼養管理①		
2	動物の飼養管理Ⅱ	犬の飼養管理②		
3	動物の飼養管理Ⅲ	猫の飼養管理①		
4	動物の飼養管理Ⅲ	猫の飼養管理②		
5	動物の飼養管理Ⅳ	その他の哺乳類の飼養管理①		
6	動物の飼養管理Ⅳ	その他の哺乳類の飼養管理②		
7	動物の飼養管理Ⅴ	鳥類の飼養管理①		
8	動物の飼養管理Ⅴ	鳥類の飼養管理②		
9	動物の飼養管理Ⅴ	鳥類の飼養管理③		
10	動物の飼養管理Ⅵ	爬虫類の飼養管理		
11	動物のしつけⅠ	学習理論		
12	動物のしつけⅡ	犬と猫の社会化		
13	動物のしつけⅢ	犬のしつけの基本		
14	動物のしつけⅣ	猫のしつけの基本		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物飼養管理士2級教本		期末試験	100.0%	【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストや問題集を用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物行動学		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	村尾 智(実務経験あり)
授業の概要				
動物、おもに犬についての生態、行動を学び理解する。				
動物と人間がいかに共存できるか学習する。				
【実務経験】 トレーナーとして25年の実務経験				
これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること				
授業終了時の到達目標				
動物の行動習性について正しい知識を持つ				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	生得的行動・習得的行動	遺伝・行動・学習		
3~ 4	パブロフの犬	条件付け・古典的条件付け・条件反射・無条件反射		
5~ 6	オペラント条件付け	イルカトレーニング・クリックートレーニング		
7~ 9	犬の五感	臭覚・視覚・聴覚・触覚・味覚		
10~ 12	ホルモンと行動	去勢・避妊		
13~ 15	愛護	パピーミル・殺処分・子犬の流通システム		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		期末試験	100.0%	【準備学習】テキストを読んで予習をしておく



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
しつけトレーニング実習 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2019/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位(90時間)	必須	村尾 智(実務経験あり)
授業の概要				
<p>社会化を身につける。</p> <p>【実務経験】 トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること</p>				
授業終了時の到達目標				
トイレができる・社会に慣れる・飼い主とのコミュニケーションがとれる。				
回	テーマ	内容		
1～5	社会科について	社会科について考え、学ぶ		
6～10	トイレの教え方	失敗しないためのトイレの教え方を学ぶ		
11～15	アイコンタクト	目と目を合わせることで信頼関係を築く		
16～20	クリッカーについて	クリッカーの使い方を学ぶ		
21～25	シェーピングについて	動物に行動を科学的に教える		
26～30	呼んでくる	招呼を学ぶ		
31～35	お座り・伏せ・マテ	停座・伏臥・待てを学ぶ		
36～40	持ってくる	持来を学ぶ 命令で何でも持ってこれるようになる		
41～45	一緒に歩く	脚側行進を学ぶ 飼い主と歩調を合わせて歩けるようになる		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		期末試験	100.0%	【準備学習】テキストを読んで予習をしておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	
しつけトレーニング実習Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2019/後期	実習	
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分	45回	3単位(90時間)	必須	村尾 智(実務経験あり)	
授業の概要					
担当犬と信頼関係を築く					
【実務経験】 トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること					
授業終了時の到達目標					
試験に合格する					
回	テーマ	内 容			
1~10	脚側行進	一緒にあるく			
11~30	招呼	呼ぶ			
31~45	総合	試験科目			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
		出席率 実習・実技評価	10.0% 90.0%	【準備学習】テキストを読んで予習をしておく	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
アジリティ実習 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2019/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	村尾 智(実務経験あり)
授業の概要				
色々な障害物をクリアーさせる  <b>【実務経験】</b> トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること				
授業終了時の到達目標				
簡単なハードル、トンネルをのーリードでクリアーする				
回	テーマ	内容		
1	障害の説明	色々な障害物の名前を覚える		
2	道具の組み立て方	様々な道具の組み立て方を覚える		
3~5	ハードルを飛ぶ	ハードルの飛ばせ方を覚える		
6~8	難しいハードルを飛ぶ	難易度のハードルの飛ばせ方を覚える		
9~11	トンネルをくぐる	トンネルのくぐらせ方を覚える		
12~15	ハードルとトンネルの簡単なコースをクリアする	ハードルとトンネルを使った簡単なコースを完走させる		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		期末試験	100.0%	【準備学習】テキストを読んで予習をしておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
アジリティ実習Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2019/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	村尾 智(実務経験あり)
授業の概要				
簡単なアジリティを知る				
【実務経験】 トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること				
授業終了時の到達目標				
簡単なコースを走れる				
回	テーマ	内容		
1~7	スラローム初級	スラローム 初級レベル		
8~14	ハードル中級	ハードル 中級レベル		
15~21	ハードルとトンネル	ハードル 中級レベル トンネル		
22~30	簡単なコースを走る	簡単なコースを走れるようになる		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 期末試験	20.0% 80.0%	【準備学習】テキストを読んで予習しておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ドッグトレーニング概論 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀(実務経験あり)
授業の概要				
講義 実務経験	警察犬訓練所で6年学んだ経験を生かして一般オーナーが何をなやんでるかなどの対策をを伝える			
授業終了時の到達目標				
CD1. CD2 トレーナー2級				
回	テーマ	内容		
1	犬体用語の理解	試験で使用される用語を知る		
2	トレーニング用語の理解	試験で使用される用語を知る		
3~ 4	犬の習性の理解	犬の習性を理解し犬と向き合う大事さを知る		
5	問題行動の現状	問題行動とはどんなことか		
6~ 8	問題行動の対処の仕方	よくある問題行動の対処の仕方を知ろう		
9~ 10	預かり犬のトレーニングプログラム	トレーニングの順番を学ぼう		
11~ 12	クライアントに対してのマナー	クライアント(飼い主)に対してのマナー		
13~ 15	過去問題及び模擬問題の解説	ライセンス試験に向けて勉強		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKCドッグトレーニングマニュアル		期末試験	100.0%	トレーニング実技でいつも座学を意識する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ハンドリング学 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2019/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	吉本 真紀(実務経験あり)
授業の概要				
座学、実技 【実務経験】ハンドラー経験26年を生かして学生のハンドラーとしての仕事を理解できるロールモデルのなること				
授業終了時の到達目標				
JKCハンドラーC級取得				
回	テーマ	内容		
1	ハンドリングとはなにか			
2	試験の内容			
3	実技リードの使い方			
4~5	正しい姿勢			
6~7	犬とコミュニケーションの取り方			
8~15	試験内容の練習			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKCハンドリングマニュアル		実習・実技評価	100.0%	事前学習 常にモデル犬とスキンシップをとること